



# 四回目の請願提出が完了しました

「緊急出動のある自衛官の宿舍の改善を求める請願」を、第193回国会に提出致しました事をご報告致します。皆様のご協力とご支援に、心より御礼申し上げます。今回の紹介議員は10名(参議院2名、衆議院8名)となりました。

なお、議会の委員長などに就任されると紹介議員にはなれないというルールがございますが、一旦紹介議員を離れた先生方も今もこの請願内容にご賛同、ご協力頂ける体制となっております。

少しずつではありますが確実に、自衛官が安心して任務に励めるような体制を整えるための輪が広がっていると感じております。これもご署名にご協力頂いている皆様や、賛助会員として当会にご寄付下さる皆様のおかげです。

## 当会の名称を変更しました

これまで「政治に参加できない自衛官を国民の声で守ろう会」という名称が当会の正式名称であり、「正式な略称」として

「自衛官守る会」という名称を使用していました。しかし、諸手続きの度にこの長い名称が障害となりがちであった事と、「長すぎて覚えにくい」という声を頂くなどした為、この度略称を正式名称とし、元の正式名称を説明用のサブタイトル化する事を総会で決定致しました。現在は書類等を少しずつ略称表記に変更して移行を進めております。広報が徹底しておらず恐縮でございますが、現在の正式名は「自衛官守る会」である事をここで改めてご報告致します。

## 署名用紙の印刷と配布

自衛官守る会は、この請願の内容に賛同しているスタッフ会員(正会員)と、その活動を寄付によって支えて下さる賛助会員の二種類の会員で成り立っております。発足当初はスタッフ会員や有志自らが署名用紙を自腹でコンビニでコピーするなどして対応していましたが、賛助会員様が増えたいおかげで、前回初めて印刷をすることができました。そして今回も再び印刷をする

ことができ、確実に多くの署名を集める一助となっております。

地味な活動をしている小さな会ではございますが、賛助会員さんから頂く年間三千万の会費が、こういった形で具体的な署名数の拡大に確実に繋がっております。どうか変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

## オリジナルピンバッジ制作

今年初の試みとして、当会のオリジナルのピンバッジを作成しました。当会、デザイナー主導でデザインを検討し、シンプルで美しいものが出来上がりました。これは事前に募った希望者に実費でお分けするという形をとったのですが、数量はある程度余裕を見て作成したにもかかわらず、実物を見てから欲しいと仰る方も多く、あっという間に売り切れてしまいました。

## 防衛大臣政務官へのご挨拶と当会の活動状況の説明

去る6月16日、衆議院議員 谷公一先生にお付き添い頂き、防衛大臣政務官の小林鷹之衆議院議員にご挨拶に伺いました。我々の活動内容をご説明差し上げる際、身を前に乗り出して聞いてくださる様子には小林政務官の自衛官に対する敬意と熱意を感じ、大変頼もしく感じました。

その後、村川海上幕僚長の元へご挨拶に伺いました。海上幕僚長の応接室にある、歴史ある帝国海軍の絵画や書などをご説明下さいました。中でも東郷元帥の日本海海戦の際の電文を書いた書はひととき重厚で美しく、一同は大変感激致しました。

## ウェブメディアでの広報

自衛官の待遇改善についての世論を広げる為、当会の役員が執筆した記事が「日刊

から紹介議員になって頂いており、現在外務大臣政務官の為、紹介議員はお休み頂いている小田原潔衆議院議員にも、外務省の外務大臣政務官室へ表敬訪問し、当会の近況をお伝え致しました。

お三方とも大変お忙しい身であるにも関わらず、当会の為にわざわざ時間を作って下さり、終始丁寧にご対応頂きました。心より感謝致します。

## 署名についての

### 注意点とお願い

衆議院と参議院では署名は別集計となります。その為同一人物が衆議院と参議院にそれぞれ一つずつの署名を送ることができません。お一人で二回の署名を書いて頂くのはとても大変なのですが、それだけで二倍の署名数が手に入ることになります。署名を集めて下さる皆様は大変お手数ですが「一人一枚ずつ」、衆議院分と参議院分を分けて集めて頂ければ幸いです。

また、国会の請願課のチェックは当然ながらとても厳しいものです。筆跡が全く同

じものが複数ある場合などは全て弾かれてしまいます。例えば同じご家庭内でご家族の署名を書いて頂く際は、代筆などではなく、各々ご自分で署名を記入して頂くよう徹底をお願いいたします。

### お願い内容

<http://yakamochi.org/seigan.html>

### 署名用紙のダウンロードは

こちらからどうぞ (PDF)

<http://yakamochi.org/>

[newsletter/20149mamorukai.pdf](http://yakamochi.org/newsletter/20149mamorukai.pdf)

### 署名送付先

「自衛官守る会」事務局

〒5320011

大阪市淀川区西中島 6丁目3番24号

D426

### その他リンク集

自衛官守る会 公式サイト

<http://yakamochi.org/>

Facebook

<https://www.facebook.com/groups/seigan/>

# 波濤をこえて〜学生時代

正会員 星山 良一 (元海上自衛官)

「今、今と 今と言う間に  
今の過ぎゆく」

防衛大学校四学年の機動艇実習で、操船訓練の講評で指導官の言った言葉だ。帝国海軍以来の、船乗りの言い伝えらしい。他の事はたいてい忘れたが、なぜかこの言葉

だけは鮮明に覚えている。わずか十トン程度の機動艇の実習ではあったが、それから二十年後に護衛艦の艦長となるまでに、嫌というほどその意味を思い知らされることになる。

防衛大の四年間は、勉強そっちのけでクラブ活動(小型ヨット)に打ち込み、それこそあつという間に過ぎて行くのだが、卒業研究だけはまじめにやった。テーマは、「横波波浪中における船体の定常傾斜について」で、三人の同期で実験水槽を使った船体模型の動揺試験や理論計算など、楽しく研究をすることができた。

船舶工学の研究室の書庫には、大戦中の戦闘艦艇の被害調査などの資料もあり、実験の合間にそのような資料を読み漁ったものだ。苦勞してまとめた卒業論文は、日本造船学会賞を受賞することになり、卒業式前日の全体リハーサル終了後、表彰を受けた。

私が防衛大に入った理由は、その当時どこの大学でも教えていない戦史や軍事理論などの防衛学を学びたかったからだ。国防のために自衛官になるなどと言う崇高な意思は微塵も無く、卒業後の進路など考えもしていなかった。寝台列車から京浜急行を乗り継ぎ(特急は追加料金がいると思つて普通電車に乗った)、バスで横須賀の外れの高台(小原台という)にある防衛大に到着した。着校手続き後に、上級生たちが緑色の服(オリブドラブの陸自作業服)を着ているのを見て、私はいそいそチェックを受けた。

「話が違う。詰襟の紺色の制服を着るんじゃないのか?これじゃあまるで、自衛隊じゃないか!」当たり前である。自衛隊の幹部を養成する学校なのだから、自衛隊に決まっている。正門を入つてすぐ右に戦車や戦闘機が置いてあるのを見て、「何かおかしいなあ。」とは思つていた。今思えば、世間知らずの田舎者だったわけだが、鹿兒島の田舎へ逃げ帰るのは恥だという意識が強く、「まあ何とかなるだろう。」という、い加減な性格も相まって、続けることにした。

衛を体験させる目的があったのかもしれない。生まれつき小心で、逃げ回ることに長けていたのか、幸運なことに負傷することなく何とか生き延びることができた。なにしろ、負傷すると「よこす家畜病院」、正式名称「海上自衛隊横須賀地区病院」へ送

## 災害派遣

自衛隊の主たる任務は、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、我が国を防衛することですが、従たる任務の一つとして災害派遣があります。

東北地方を中心に甚大な被害をもたらした、東日本大震災の発生から六年の年月が過ぎました。日本は地震だけではなく、台風・洪水・火山の噴火・津波・集中豪雨、豪雪等のあらゆる災害が起きる世界でも有数の災害大国です。昨年、熊本大地震や阿蘇山の噴火、北海道及び東北地方での台風被害があり、今年に入っても鳥取県の豪雪等、多くの自然災害に見舞われました。

こうした災害が起きた際に、地方自治体等と協力・連携し、現地を救助活動を行うのが自衛隊の災害派遣です。

災害派遣と一言で言っても、その任務は、混乱した中での情報の収集に始まり、行方不明者の捜索、被災者の救出・搬送、障害物の撤去、道路などの啓開（けいかい）、救援物資の輸送、空中消火、入浴などの被災者支援などなど、多

られ、獣医の方が何倍もマシと言う医官の手にかかり、軽傷なのになぜか生死の淵を彷徨うという試練が待ち構えているからだ。「こんな所で死ぬ定めではない。」今となつては笑い話だが、当時は真剣に思ったものだ。

岐に亘ります。ちなみに東日本大震災での自衛隊災害派遣（平成二十三年三月一日～同年八月三十一日）では、延べ人員約一〇五八万人（一日の最大派遣人員約十万人）が出動しました。自衛隊と隊員の頭が下がるような、献身的な活躍なしに、今日の東北はありません。

今日、自然災害への対応は、災害後の対応から事前の防災への備えを重要視するようになっています。自衛隊においても、「自衛隊統合防災演習」をはじめとする各種防災訓練の実施及び地方自治体などが行う防災訓練への積極的参加等を通して、災害に備えた関係機関との平時の連携を強化しています。

## 最悪に備え、最善を尽くす

私自身も、大規模な地震災害を経験しました。平成七年一月に阪神・淡路大震災が起きた時、兵庫県庁で働いておりま

わす、未曾有の事態に混乱しながら、それでも遮二無二、必死に対処してきました。この大震災の復旧・復興において学び、鍛えられた体験、経験が私の政治家

すでにこの時点で、未だ解決に至っていない自衛隊を取り巻く問題を指摘することができるとすなわち、①募集時の説明が詭弁である（防衛大

としての原点です。有事に適切に対処できない政治家は政治家の資格はないと思

い知らされました。衆議院議員になつてからも、自民党

害対策委員長、復興副大臣、復興大臣補佐官などを務め、そして現在も、自民党

東日本震災復興加速化本部事務局長、衆議院東日本震災復興特別委員会筆頭理事として、復興と防災・減災に力を入れて働かせていただいております。

国の存亡が問われるような危機、国の根幹に影響を及ぼすような事態に、しっかりと備えることは政治の要諦です。「最悪に備え、最善を尽くす」ことは政治や自衛隊に何よりも不可欠な心構えです。

今後とも自衛官の待遇改善など、皆さまのご意見を伺いながら、東北・熊本の復興の為、我が国の防災・減災、そして安全保障強化のためしっかりと頑張つてまいります。



自由民主党兵庫連合会長  
衆議院議員 谷 公一  
平成十五年、衆議院議員に  
当選（現在、期 復興副大臣、  
復興大臣補佐官、衆議院  
土交通委員長などを歴任）

のとおりのだが、その説明はされていないので、普通の大学生活、しかもお給料を貰える太っ腹な学校だと思つていい。② 予算がないから支給する服がない。当然、想定外の人数が入ると状態の悪い中古品を渡され、服に身体を合わせないといけない者が激増する。

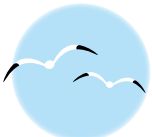
③ 今はないと思うが、指導という名のいじめが横行していた。まあ、それに耐えられないようなら自衛隊に入るという気概はあった。

④ 自衛隊医官、医療のレベルが低い。当時の医官は、酷かった。下手に軽傷を負つて家畜病院で治療される苦行を味わうよりも、重症で自衛隊中央病院へ担ぎ込まれた方が良かった。中央病院は大会東京の世田谷公園の横にあり、しかも優しくて美人の看護師さんが沢山いるハートフルだと先輩が語っていた。防衛医大ができて飛躍的に改善されたが、医官不足が常態化しており、医療レベルも一般には及ばない。

⑤ 専守防衛では戦えない。戦闘の要訣は、先制と集中である。当たり前のことだが、戦いの主導権を握らないと勝利は覚束ない。

いやはや、三十年以上経っているのに、ほとんど改善されていないではないか。と、言っているところで紙面が尽きてしまった。

（続く）



# 海からやって来た即応予備陸士長より

正会員 泊 太郎 (元海上自衛官)

近年、大規模な災害やソマリアの海賊対処行動、日本を取り巻く厳しい安全保障環境などの影響により、自衛隊への関心が非常に高くなっており、有事の際に必要なとされる大きな防衛力を補うシステムとして、予備自衛官等制度が設けられています。私自身、学生時代は予備自衛官補と陸上自衛隊予備自衛官を、海上自衛隊退職後は再び陸上自衛隊予備自衛官を拝命しました。

また、現在は家庭教師や執筆活動(『海上自衛官が南極観測船「しらせ」で学んだきつい仕事に潰されない人のルール』秀和システム刊)を行いながら、陸上自衛隊の即応予備自衛官として訓練に出頭しております。これらの経験をもとに、僭越ながら予備自衛官等制度の現状に関して寄稿させていただきます。

予備自衛官等制度は三つの制度からなっており、その一つとして予備自衛官があります。平成26年には創設六十年を迎えた、陸海空それぞれの非常勤の自衛隊員です。有事の際に第一線部隊が出動した時、駐屯地警備や後方支援などの任務に就きます。東日本大震災でも、米軍の通訳や部隊の活動支援に従事しました。また、年間で5日間の訓練に出頭する事となっています。また、二つ目として即応予備自衛官があります。こちらは陸上自衛隊だけの制度で、有事の際には第一線部隊の現職の自衛官と

共に任務に就きます。予備自衛官よりも高い訓練の維持が求められることから、年間で三十日の訓練に出頭する事となっています。先の熊本地震で、自衛隊が被災者支援を実施したことは私たちの記憶に新しいところですが、この時、支援を強化するために九州管内の即応予備自衛官も災害派遣に召集されました。東日本大震災以来、二回目の派遣となります。

そして、三つ目に予備自衛官補があります。これは主に自衛官未経験者を対象として採用し、一定の教育訓練が終了した後に陸上自衛隊の予備自衛官として任用する制度です。教育訓練集に応じる義務を有しますが、防衛招集や災害招集に応じる義務はありません。また、採用区分も一般と技能があり、教育訓練を全て終了すると所定の階級が指定されます。

予備自衛官、即応予備自衛官及び予備自衛官補(以下予備自衛官等)は、平素は民間人として日常生活を送っています。しかし、訓練や災害等で出頭しなければならぬので、ご家族やご友人だけではなく、特に雇用企業のご理解とご協力が不可欠となります。具体的に言いますと、当該の予備自衛官等が出頭する期間は特別休暇や勤務免除などの扱いをして、不利益を被らないように講ずることです。実は、予備自衛官等になるに際して、これが一番のネックと

なっています。予備自衛官等になる意思があっても、「絶対に仕事を休めない」、「勤務先の理解が得られない」という理由で断念せざるを得ないケースが少なからず存在します。また、実際に予備自衛官等になっても、やはり理由で訓練などに出頭できないケースが多々あります。これらは特に、年間で30日の訓練に出頭しなければならぬ即応予備自衛官に多く見られます。したがって、充足率が必ずしも高くないのが現状です。

私的な見解となりますが、この現状を打破するには予備自衛官等制度を広く浸透させる必要があると考えます。ご家族やご友人、雇用企業のご理解とご協力が必要なのは言うまでもありませんが、それを成すには予備自衛官等制度を知らないと話になりません。一概に比較することはできませんが、消防団の事は広く知られていても、予備自衛官等制度を知っている人は多いと言えます。これでは仕事と予備自衛官等を兼ねる事が難しいのは無理もないでしょう。現在盛んに話題となっている国土強靱化を実現するにも、予備自衛官等の充足率向上は喫急の課題と言えます。

最後になりますが、即応予備自衛官制度に関して少し補足をしたいと思います。この制度は陸上自衛隊経験者しか応募できないように思われがちですが、実は海上自衛隊と航空自衛隊の経験者でも一定の条件を満たせば応募が可能です。応募資格の中に「陸上自衛隊の予備自衛官で採用されてい

る者」とありますが、海上自衛隊と航空自衛隊を退職した自衛官も陸上自衛隊の予備自衛官を経験すれば、即応予備自衛官に応募する事が可能です。

また、即応予備自衛官の雇用企業については、一定の条件を満たせば負担に報いるための「即応予備自衛官雇用企業給付金」が支給される場合もあります。必ずしも充分とは言えませんが、この制度を上手く活用すれば雇用企業側の負担も軽減されるのではないのでしょうか。

今後とも、自衛隊及び予備自衛官等制度にご理解とご支援をいただければ幸いです。また、真摯に任務に励まれている現役の自衛官の皆様にご心からの感謝を申し上げます。

海上自衛官が  
南極観測船「しらせ」で学んだ  
きつい仕事に  
潰されない人の  
ルール

元海上自衛官  
泊 太郎



全国書店で  
好評発売中!

## 編集後記

皆様のご支援のおかげで「やかもち便り」も3号としてご報告することができました。目標達成までは道まだ半ばですが、一步一步を確かめながら活動していければと考えています。(編集部 石田)